

伊達な旅ガイド

Vol.377

笑顔咲きたび  伊達な旅
仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城



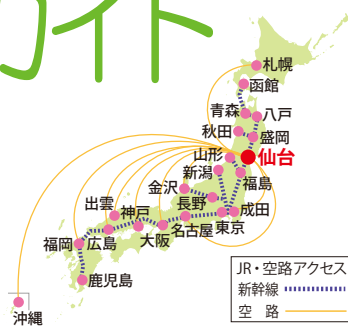
伊達な旅紀行

いいトコ!
みやぎ

毎週月曜日
18:24 ~ 18:30
BS-TBSにて大好評放送中



仙台・宮城
観光PRキャラクター
むすび丸



JR・空路アクセス
新幹線
空路

今回の伊達な旅MAP



東北新幹線くりこま高原駅下車／三陸自動車道登米東和ICから

2020年
3月9日
放送

米川の水かぶり



宮城県北部にあり、米の産地として知られる登米市。この地域には、「米川の水かぶり」という800年以上も続いている伝統行事があります。奇祭「米川の水かぶり」を見に、登米市を訪れてみてはいかがでしょうか。

米川の奇祭



米川の水かぶり保存会会長
菅原 淳一さん



「水かぶりは、この地から古くから伝わる火伏の行事で、人間が神様の姿をお借りして、火伏をして歩く行事です。2018年、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。人と神様が触れ合う、日本の文化というものを世界の人にも知っていただきたいです」

2018年 ユネスコ無形文化遺産に登録
(来訪神：仮面・仮装の神々 10行事の一つ)

町の入口では、巨大な水かぶり人形がお出迎え。



顔にはかまどのすすを塗って、顔を黒くします。かまどのすすは火の神様の印です。水かぶり宿を出た後、火伏(の神様)を祀っている大慈寺境内にある秋葉山大権現に火伏を祈願します。

曹洞宗法輪山 大慈寺



祭事会場では、登米市の伝統文化を披露するイベントも行われています。



祈願した後、街へ出て家の前に用意された桶の水を家にかけて火伏をします。



見物に訪れた人たちは、水かぶりの男たちが身につけたわらを引き抜き、「火事にならないように」と丸めて屋根の上に乗せます。



豚汁が振る舞われ、火伏せのお守りや水かぶり特製グッズも販売しています。